

ホテルの客室から簡単注文、 ee-TaB*がオーダーシステムと連携し、 フロント業務を効率化

ボクシーズ株式会社（東京都千代田区、代表取締役：鳥居 暁、以下：ボクシーズ）は、株式会社ミライト（東京都江東区、代表取締役社長：鈴木 正俊、以下：ミライト）とテックファーム株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：千原 信悟、以下：テックファーム）がホテルや旅館向けに提供している客室設置型タブレットによる情報配信サービス『ee-TaB*（イータブ・プラス）』（以下、イータブ・プラス）が、ボクシーズが提供するオーダーシステム『Putmenu（プットメニュー）』と連携し、新たに客室からの注文に対応を開始したことを発表します。

イータブ・プラスは、ホテルの基本情報に加えて、観光や周辺グルメ関連等の情報を文章や写真、音声や動画も交えて配信できるサービスです。この度、新たにPutmenuと連携することで、客室からの注文にも対応しました。

これまで客室からの注文は電話で行っていました。多いときには、1日に100件以上の電話対応が発生する場合もあり、ホテルでは常時スタッフを待機させておく必要がありました。また、部屋番号や注文内容、注文個数などを電話でやり取りするため、聞き間違いなどが発生する可能性がありました。

イータブ・プラスからの注文はホテルの部屋番号と紐付いており、いつ、どの部屋から、どの商品が何個注文されたかが、フロントに設置したプリンターから出力されます。これにより、聞き間違いなどもなくなるため、注文の正確性や効率化を実現できます。

イータブ・プラスは日本語だけでなく、英語、中国語、韓国語にも対応しています。Putmenuも10言語に対応しているため、多言語での連携も実現しています。イータブ・プラスから中国語で注文すると、フロントでは日本語に翻訳された伝票が出力されるため、外国語に不慣れなスタッフでも対応できます。

Putmenuと連携したイータブ・プラスは、現在開催中の「国際ホテル・レストラン・ショー」のミライトブースに展示されています。

Putmenuは、来店客のスマートフォンのアプリに10言語でメニューを掲載し、注文をしたテーブルや位置情報で料理を配膳することができます。来店前でもアプリでメニューを選択しておくことで、来店後、テーブルに着席するとすぐに注文することもできます。テーブルを特定できる位置情報テクノロジーで実現しています。Microsoft Innovation Award 2016でファイナリストを受賞し、2016年9月に（公財）東京都中小企業振興公社の事業可能性評価委員会で評価された革新的なテクノロジー製

品です。

Putmenu は、これらからも既成概念を変える革新的な機能に挑戦し、さらなるサービスの向上を目指してまいります。

■イータブ・プラスと Putmenu の連携イメージ



■Putmenu の紹介ページ

<http://boxyz.com/putmenu/>

■展示会情報

【展示会】国際ホテル・レストラン・ショー (HCJ2017)

【会場】東京ビッグサイト

【開催期間】2月21～24日

【出展者】株式会社ミライト

【ブース】6-G01

【URL】<http://www.jma.or.jp/hcj/jp/>

■ボクシーズ会社概要

【名 称】ボクシーズ株式会社

【本 社】東京都千代田区九段北 1-3-5

TEL : 03-6268-9991

【設 立】2006年5月23日

【代表取締役】鳥居 暁

【資本金】30,000千円

【業務内容】スマートフォンサービスの総合開発

【URL】<http://boxyz.com/>

◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

ボクシーズ株式会社 広報担当

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-5

TEL : 03-6268-9991 FAX : 03-6268-9992